

<英語語法マスター⑧> 形容詞の語法④

① 補語専用の形容詞

形容詞には補語になる用法 [= 用法] と名詞を(前から)修飾する用法 [= 用法] の2つがある。

→ どちらか一方の用法しかないものや、用法によって意味が違ふものがある!

<補語[叙述用法]でしか用いない形容詞>

- ① () 「恐れて」/ ② () 「よく似て」/ ③ () 「生きて」
 ④ () 「ひとりで・孤独な」/ ⑤ () 「恥じて」/
 ⑥ () 「眠って」/ ⑦ () 「目が覚めて」/ ⑧ () 「気付いて」
 ⑨ () 「満足して」/ ⑩ () + to V 「責任があって」
 ⑪ () + to A 「」/ ⑫ () + to V 「」
 ⑬ () 「健康な・好都合な」/ ⑭ () + ⑮ (Ving) 「の価値がある」
 など

[1] 上記の形容詞は叙述用法のみに用いられる!

(例) (O) The twins are exactly alike. 「その双子はうり二つだ」

(X) They are exactly alike twins.

⑮ well は ⑮ の口語では 「」の意味で限定用法に用いることがある。

[2] これらの形容詞は () に置いてその名詞を修飾することがある。

→ 「」の省略と考える!

(例) I am now the happiest man (who is) alive.

「私は今この世で一番幸せだ」

② 限定用法のみの形容詞

<名詞修飾[限定用法]でしか用いない形容詞>

- ① () 「年上の」/ ② () 「お気に入りの」/ ③ () 「前者の」
 ④ () 「後者の」/ ⑤ () 「生きている」/ ⑥ () 「単独の/ただ1人の」
 ⑦ () 「主な」/ ⑧ () 「ほんの」/ ⑨ () 「近くの」
 ⑩ () 「唯一の」/ ⑪ () 「以前の」/ ⑫ () 「統計の」
 ⑬ () 「上の」(↔ lower)/ ⑭ () 「全くの」/ ⑮ () 「まさにその」
 など

(例) This is the very book I need now. 「これが今私が必要なまさにその本だ」

3 叙述用法と限定用法で意味が変わる形容詞

形容詞	叙述用法	限定用法
① ()	「～することができる」 ↑ () で	「 」
② ()	「 」	「 」
③ ()	「 」	「 」
④ ()	「 」	「 」
⑤ ()	「 」	「 」
⑥ ()	「 」	「 」

(例) You'll be late for the meeting. 「会合に遅れるよ」

※ be late for A: 「 」

He arrived in the late afternoon. 「彼は午後遅くに到着した」

⑥ 1. late は () で限定用法の形容詞として、 「 」 の意味を表す

2. アメリカでは「病気の」の意味では両用法ともに () を用いることが多く、イギリスでは sick は叙述用法では 「 」 の意味に用いる。

3. () は「右の」の意味では () 用法のみに用いる!

4 注意すべき形容詞の名詞のコロケーション

① () : 「 」 ↔ ()

You have the wrong number. 「番号が間違っています」

② () → () : 「 」

③ (/) : 「 」

The traffic is heavy on Sunday. 「日曜日は交通が激しい」